

水の中はキラキラした世界

7月3日(金)は、さわやかに晴れわたり、最高のプール日和となりました。年長のひまわり組は、今年3回目、年少のちゅうりっぷ組は2回目のプールです。

シャワーの水は、やはり冷たくて、頭や顔に水がかかると、「キャー キャー！」とみんな大騒ぎです。中には泣いてしまう子もいましたが、プールに入って、水の中の貝やカニのおもちゃを拾ったり、ワニのまねをして泳いでみたりしているうちに、どの子もみんな笑顔に



「新しいプールで」

なっていきます。子どもは本来、水遊びが大好きなのだと思います。水が苦手な子も、友達がいて信頼できる先生がいると、どんどん新しいことに挑戦していきます。そして少しでも水に顔を付けることができるようになると、水はもう怖くなくなります。水の中のキラキラした世界が見えてきます。こんなきれいな世界があるんだなと驚きます。さらに少しでも泳げるようになると、プールが大好きになり、夏はがぜん楽しくなります。

今年は、一学期が7月31日(金)までになりますが、その分、幼稚園のプールでいっぱい水遊びをさせてやりたいと思っています。

保育の研究を進めています

清水幼稚園は、昨年度から福島市教育委員会の研究委託を受け、「保育の質」の向上に取り組んでいます。7月9日(木)は、福島市教育委員会の指導係の先生や研究協力園の森合幼稚園、庭塚幼稚園、福島大学附属幼稚園の先生方に保育参観をしていただき、研究協議を行いました。

幼稚園の教育は、小学校のように教える内容が書いてある教科書もなく、ノートに書いたリテストで問題を解いたりするわけでもありません。ですから教師は、子どもの表情や動き、友達との会話や何気ないつぶやきなどを丁寧にとらえ、その価値や意味を考え、保育を展開していきます。そのような教師の判断や対応は、外からはなかなか見えません。

そのような幼児教育を、誰にでも「見える」ようにしていくことが、保育の質を高めることにつながっていくと考えています。

10月14日(水)には、市内の幼稚園や小中学校の先生方においでいただき、2年間の研究の成果を発表する予定です。